

研究機関：広島大学

研究課題名	体組成評価による進行肝癌治療の予後解析
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
研究期間	2018年10月12日 ~ 2023年3月
対象者	2009年4月1日から2016年7月31日の間に、広島大学病院消化器・代謝内科でソラフェニブによる肝癌治療を受けられた患者。
意義・目的	肝癌におけるソラフェニブ治療において、内臓脂肪と骨格筋の両者について評価した報告はありません。今回、ソラフェニブ治療を行った進行肝癌患者の治療時のCT画像を用いて、体組成評価として筋肉量と内臓脂肪量を測定することでソラフェニブ治療における体組成の重要性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は性別、年齢、身長、体重、PS、肝疾患の原因、Child-Pugh score、日本肝癌研究会の原発性肝癌取り扱い規約に基づく進行度(Stage)、腫瘍数、最大腫瘍径、Microvascular invasion (Vp, Vv)の有無、肝外転移の有無、前治療の有無、分岐鎖アミノ酸製剤治療の有無、アルブミン、総ビリルビン、腫瘍マーカー(AFP, DCP)、体組成評価(SMI, VFA)です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	山口大学医学部附属病院、千葉大学医学部附属病院、昭和大学藤が丘病院 山口大学に情報を集め山口大学（研究責任者 佐伯一成、前田雅喜）が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。(モニタリング有の場合)ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5465 広島大学病院消化器・代謝内科 講師 相方 浩